

地域医療支援病院業務報告書

令和5年9月7日

(申請先)

横浜市長

申請者 住所 神奈川県川崎市宮前区菅生2-16-1

氏名 学校法人 聖マリアンナ医科大学
理事長 明石 勝也

〔 法人の場合は、主たる事務所の
所在地、名称及び代表者の氏名 〕

電話 045-977-8111

標記の件について、医療法第12条の2の規定に基づき、令和4年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒216-8511 神奈川県川崎市宮前区菅生2-16-1
氏名	学校法人 聖マリアンナ医科大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 病院名

フリガナ	セイマリアンナイカダイガクヨコハマシセイブビョウイン
病院名	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院

3 所在地

〒241-0811 横浜市旭区矢指町1197-1 電話：045-366-1111
--

4 病床数

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計
0床	0床	0床	0床	518床	518床

5 施設の構造設備

施設名	施設概要
集中治療室	(主な設備)救急蘇生装置、除細動器、ペースメーカー、心電計、X線ポータブル撮影装置、呼吸循環監視装置、人工呼吸装置、微量輸液装置、超音波診断装置、心電図モニター、保育器、未熟児・新生児人工呼吸器 他 病床数 49 床(ICU 10床、GHCU 30床、NICU 9床)
化学療法室	(主な設備)生化学自動分析装置、免疫分析装置、血液ガス測定装置、自動血液凝固分析装置、全自動尿分析装置、自動血球計数装置 他
細菌検査室	(主な設備)自動細菌検査装置、蛍光顕微鏡、高圧蒸気滅菌器、冷却機能付きバイオハザード遠心機、孵卵器、CO2インキュベーター 他
病理検査室	(主な設備)顕微鏡、遠隔病理診断装置、遠心分離器、マイクローム、自動免疫染色システム、スライドファイル映写機、全自動写真撮影装置 他
病理解剖室	(主な設備)オーロラライト、カメラ、ストレッチャー、遺体冷蔵庫、解剖台、機械戸棚、振とう器、真空包装装置、体重計、包埋装置 他
研究室	(主な設備)机、椅子、パソコン
講義室	室数 1 室 収容定員 80 人
図書室	室数 1 室 蔵所数 680 冊程度 雑誌 誌
救急用又は患者搬送用自動車	(主な設備) 保有台数 2 台
医薬品情報管理室	【専用室の場合】 床面積 17.6 m ² 【共用室の場合】 ○○室と共有

(注) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

1 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

承認要件	<input checked="" type="checkbox"/> 紹介率82%を上回っている	
	<input type="checkbox"/> 紹介率が65%を超え、かつ、逆紹介率が40%を超えること	
	<input type="checkbox"/> 紹介率が50%を超え、かつ、逆紹介率が70%を超えること	
紹介率 ※患者数は延べ人数	①／②－(③＋④＋⑤)	90.7%
	①紹介患者数	12,392人
	②初診患者数	16,415人
	③地域公共団体又は医療機関に所属する救急自動車により搬入された患者の数(初診に限る)	2,448人
	④休日又は夜間に受診した救急患者の数(初診に限る)	270人
	⑤健康診断を目的とする受診により、治療の必要性を認めて治療を開始した患者の数(初診に限る)	35人
逆紹介率 ※患者数は延べ人数	⑦／②－(③＋④＋⑤)	70.2%
	⑦逆紹介患者数	9,592人

救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

職種	人数	職種	人数	職種	人数
医師	151人	歯科医師	0人	看護師	489人
薬剤師	30人	臨床検査技師	36人	臨床工学技士	16人
診療放射線技師	30人	保健師	23人	看護補助者	40人

(注)非常勤医師等、常勤換算で記載すること。

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	40床
専用病床	40床

(注)一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
救命救急センター 外来	405.40㎡	診察室4室 (主な設備)テルフュージョン輸液ポンプ、モニタリングシステム、パルスオキシメータ 他	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
救命救急センター 病棟 ICU・GHCU	1,016.9㎡	ICU 10床、GHCU 30床 (主な設備) 救急蘇生装置、呼吸循環監視装置、微量輸液装置、超音波診断装置、心電図モニター 他	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
新生児病棟 (NICU)	624.7㎡	NICU 9床 (主な設備) 保育器、未熟児・新生児人工呼吸器、NICUモニター、光線治療ユニット 他	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
手術部	1,000.6㎡	手術室 6室 (主な設備) 患者移動用リフト、分離型手術台、各種モニター、監視モニターカメラ 他	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
臨床検査部	986.3㎡	生理検査室、細菌検査室、生化学検査室、輸血室 (主な設備) 心電計、超音波診断装置、脳波計、自動細菌検査装置、生化学自動分析装置 他	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
画像診断・治療部	1,466.6㎡	一般撮影室、CT検査室、X線TV室、血管撮影室、MRI検査室、超音波検査室、核医学検査室 (主な設備) MRI撮影装置1.5T、CT撮影装置64列、マンモ撮影装置、骨密度測定装置 他	可 <input checked="" type="checkbox"/> 否 <input type="checkbox"/>
病理診断科	164.7㎡	(主な設備) 電子顕微鏡、遠隔病理診断装置、遠心分離器、マイクローム、全自動写真撮影装置 他	可 <input type="checkbox"/> 否 <input checked="" type="checkbox"/>

4 備考

神奈川県知事の救命救急センターの指定を受けている。(昭和62年5月25日から)
救急病院の認定(令和5年8月18日医第66号)

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。すでに、救急病院等を定める省令(昭和39年厚生省令第8号)に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について(昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知)に基づき救急医療を実施している病院にあっては、その旨を記載すること。

5 救急医療の提供の実績【(1)又は(2)のどちらかを選択し記入すること】

(1)救急患者数

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	3,942人
	(2,448人)
上記以外の救急患者の数	2,805人
	(1,043人)
合計	6,747人
	(3,491人)

※括弧内は、初診救急患者数

(2)救急医療圏(2次医療圏)人口における救急搬送者数割合

A：救急用又は患者輸送用自動車により搬送した救急患者の数	0人
B：救急医療圏(2次医療圏)人口※	3,768,363人
C：A/B×1,000>2	0

※2022年4月1日時点の人口

6 救急用又は患者輸送用自動車

救急用又は患者輸送用自動車	2台
---------------	----

地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用(共同利用)のための体制が整備されていることを証する書類

1 共同利用の実績

共同利用を行った医療機関の延べ数	445施設
そのうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数	445施設
医療機器共同利用件数	316件
共同利用病床数	2床
共同利用に係る病床の病床利用率	0%

2 共同利用の施設・設備等

医療機器					
コンピューター断層撮影装置(CT)	<input checked="" type="checkbox"/>	磁気共鳴コンピューター断層撮影装置(MRI)	<input checked="" type="checkbox"/>		
陽電子診断装置(PET-CT)	<input type="checkbox"/>	直接撮影用エックス線装置	<input type="checkbox"/>		
核医学診断装置(RI)	<input checked="" type="checkbox"/>	乳房撮影用エックス線装置	<input type="checkbox"/>		
診療用高エネルギー放射線発生装置	<input type="checkbox"/>	骨密度測定装置	<input checked="" type="checkbox"/>		
ホルター心電図装置	<input checked="" type="checkbox"/>	消化管内視鏡検査装置	<input type="checkbox"/>		
頸動脈超音波装置	<input type="checkbox"/>	心臓超音波装置	<input checked="" type="checkbox"/>		
下肢静脈超音波装置	<input type="checkbox"/>	その他()	<input type="checkbox"/>		
手術室	<input type="checkbox"/>	病床	<input type="checkbox"/>	図書室	<input checked="" type="checkbox"/>
				会議室・講義堂	<input type="checkbox"/>

(注)当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器機又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものを明記すること。

3 共同利用の体制

共同利用に関する規定の有無

有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
---------------------------------------	----------------------------

(注)共同利用に関する規定がある場合には、当該規定の写しを添付すること。

4 登録医療機関の名簿

地域医療支援病院開設者との経営上の関係	有	0件
	無	445件

(注)当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

(注)承認要件－開設者と直接関係のない医療機関が現に共同利用を行っている全医療機関の5割以上であること。

地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明

1 研修内容(研修会等名称、研修内容、開催日、参加医療機関数)

別紙1 参照

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	18回
(2) (1)の研修参加者数	266人

(注1) 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注2) (2)には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

(1) 研修プログラムの有無	有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
(2) 研修委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
(3) 研修指導者数	61人	

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
講堂	152.40m ²	(主な設備) メモ台付椅子、音響設備、スクリーン、 液晶プロジェクター、ビデオデッキ
会議室(3階A)	75.70m ²	(主な設備) 会議用机・椅子、音響設備(移動式)、スクリーン、 ホワイトボード
会議室(3階B)	75.70m ²	(主な設備) 会議用机・椅子、スクリーン、ホワイトボード
会議室(2階)	60.00m ²	(主な設備) 会議用机・椅子、スクリーン、ホワイトボード
会議室(1階)	20.60m ²	(主な設備) 会議用机・椅子、ホワイトボード、 液晶プロジェクター、オーダーリングシステム、 テレビモニター
図書資料室	75.70m ²	(主な設備) パソコン8台、オーダーリングシステム

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者(役職名)	病院長	
管理担当者(役職名)	事務部長	
保管場所		
診療に関する諸記録 (病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約)	医事課(診療録等) 総務課(病院日誌等)	
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	患者支援センター
	救急医療の提供実績	医事課
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修実績	患者支援センター
	閲覧実績	患者支援センター
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績数を明らかにする帳簿	患者支援センター

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

閲覧責任者(役職名)	病院長		
閲覧担当者(役職名)	患者支援センター		
閲覧の求めに応じる場所	患者支援センター 地域医療連携係		
前年度の総閲覧件数	0件		
閲覧者別	当該病院に患者を紹介しようとする	医師	0件
		歯科医師	0件
	地方公共団体		0件
	その他		0件

委員会の開催の実績

委員会の回数	4回
委員会における議論の概要	
<p>第44回(ハイブリッド開催) ①新委員紹介 ②西部病院の実績報告等 ③発刊物の配布</p> <p>第45回(ハイブリッド開催) ①西部病院の実績報告等 ②発刊物の配布 ③地域連携セミナーの開催について ④救命外来の回収について</p> <p>第46回(書面開催) ①西部病院の実績報告等 ②発刊物の配布</p> <p>第47回(ハイブリッド開催) ①西部病院の実績報告等 ②発刊物の配布 ③地域連携セミナーの開催について</p>	

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

患者相談の実績

患者相談を行う場所	相談窓口 <input checked="" type="checkbox"/> 患者サポート室 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/>
	「その他」記入欄 病棟カンファレンスルーム
主として患者相談を行った者(対応者) (複数回答可)	ソーシャルワーカー、看護師、インフォメーション係職員 患者相談窓口職員
患者相談件数	5,415件

患者相談の概要

A. 受診・受療援助

- ①生活と傷病の状況に対応した受療援助
- ②当院機能等の情報提供
- ③MIC等医療通訳支援
- ④メディカルショートステイ事業・系統的全身診察

B. 退院援助

- ①今後の方向性の決定援助
- ②在宅療養に向けた援助
- ③転院、入所援助
- ④退院後のフォローアップ

C. 経済的問題援助

D. 社会復帰援助(職業・学業)

E. 療養上の心理的・社会的問題の解決、調整援助

- ①療養中の生活全般に関する問題解決への援助
- ②人間関係問題緩和への援助
- ③患者・家族への心理・情緒的問題援助
- ④患者会、家族会等の紹介

F. 社会保障制度、福祉制度などの活用援助

G. 他機関の情報提供

H. 人権擁護

- ①虐待・DV
- ②クレーム対応
- ③その他(成年後見制度等)

I. その他

上記相談に基づき、院内各部門担当者および地域の医療・介護施設、地域包括支援センター、行政各機関、福祉保健事務所、児童相談所等と連携し対策を講じている。

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類して記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が特定されないよう配慮すること。

その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類(任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

病院の機能に関する第三者による評価の有無		有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
評価を行った機関名、評価を受けた時期	2018年12月 日本医療機能評価機構 再認定 2023年 1月 卒後臨床研修評価機構 更新認定		

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

果たしている役割に関する情報発信の有無		有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
情報発信の方法、内容等の概要	共同利用に伴う検査紹介等の案内をホームページや毎年発行している診療の案内を登録医療機関は送付している。 地域医療従事者への研修会については、各領域毎に開催している内容を郵送やメール等で案内している。		

3 退院調整部門

退院調整部門の有無		有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
退院調整部門の概要	急性期病院で治療を行う患者・家族が、最善の状態で治療に参画できるよう支援し、適切な入院期間で納得して次の療養場所を選択できるよう、自宅環境の調整や療養場所の選択など意思決定を支援する。入院前に面談を行い、情報収集、退院に向けたリスクの洗い出し、地域を含めた多職種連携による入院前からの退院支援・調整を行う。在宅療養に向けての橋渡しの役割を担う。		

4 地域連携を促進するための取組み

地域連携クリティカルパスの策定		有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>
策定した地域連携クリティカルパスの種類、内容	喘息、COPD(慢性閉塞性肺疾患)、IP(間質性肺炎)、CKD(慢性腎臓病)、心不全、前立腺癌、バスキュラーアクセス、脳卒中、大腿骨骨折		
地域連携クリティカルパスを普及させるための取組	近隣医療機関への訪問、地域連携セミナーの開催、対象診療科による勉強会		

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 共同利用制度運営要綱

制定 平成22年7月1日

第1条 総則

目的

この要綱は、聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院(以下「西部病院」という。)の施設又は医療設備を地域の医療従事者の診療、研究又は研修を目的とした利用(以下「共同利用制度」という。)のために開放し、地域の医療機関との連携の推進及び地域の医療従事者の相互研鑽を図ることを目的とし、必要な事項を定めるものとする。

2 共同利用制度

共同利用制度の内容は、次の4種類とする。

- (1) 紹介患者診療型共同利用
- (2) 医療機器利用型共同利用
- (3) 研究部門利用型共同利用
- (4) 研修会等参加型共同利用

3 共同利用制度を利用する登録医等の遵守事項

紹介患者診療型共同利用等の共同利用制度を利用する登録医、登録歯科医、登録薬剤師等(以下「登録医等」という。)は、病院内においては次の事項を遵守するものとする。

- (1) 利用に際しては、地域医療連携室での受付を行い、交付された登録証を着用する。
- (2) 病院内の諸規則を遵守する。

第2条 医療機関等の登録

事前登録

共同利用制度は、研修会等参加型共同利用を除き、その利用にあたっては事前に登録をしなければならない。

2 登録名

共同利用制度の利用登録名は、医療機関名又は保険薬局名をもって登録するものとする。

3 登録の申請

- (1) 共同利用制度の利用登録を行おうとする医療機関等は、「共同利用制度登録申請書」(第1号様式)により西部病院長に申請するものとする。
- (2) 西部病院長は、利用登録を承認した場合は、「共同利用制度登録医療機関等名簿」に登録するとともに登録医療機関等に対して登録医療機関証(第2号様式)を交付する。
- (3) 登録は5年間で有効とし、この期間中に取り消しを希望しないときは延長するものとする。

4 登録内容の変更

- (1) 登録医療機関等は、登録内容に変更があった場合は、別に定める登録医療機関等変更届によりその変更を行うものとする。
- (2) 登録医療機関等は、登録の取消を希望する場合は、別に定める登録医療機関等取消届によりその変更を行うものとする。

第3条 紹介患者診療型共同利用

紹介患者診療型共同利用の内容

登録医療機関から紹介され入院した患者について、かかりつけ医と病院主治医が共同して当該患者の検査、処置又は指導を行うことにより、退院後のかかりつけ医の円滑な診療につなげることを目的とした診療型の共同利用をいう。

2 利用できる対象者

当該共同利用を利用できる医療従事者は、登録された医療機関の医師、歯科医師とする。

3 共同利用のための専用病床

共同利用のための専用病床(共同利用型病床)は、2床とする。

4 事前調整

紹介入院となった患者に対して当該共同利用を行おうとする場合は、あらかじめ地域医療連携室に連絡し、病院内主治医と事前調整をしなければならない。

第4条 医療機器利用型共同利用

医療機器利用型共同利用の内容

登録医療機関が検査目的で紹介する患者の検査について、かかりつけ医と西部病院主治医とが共同して病院内の医療機器を利用することにより、検査後のかかりつけ医の円滑な診療につなげることを目的とした共同利用をいう。

2 利用できる対象者

当該共同利用を利用できる医療従事者は、登録された医療機関の医師、歯科医師とする。

3 対象医療機器

当該共同利用として利用できる主な医療機器は、次のとおりとする。

- (1) 磁気共鳴画像装置 (MRI)
- (2) コンピュータ断層撮影装置 (CT)
- (3) 心臓超音波装置
- (4) ホルター心電図装置

4 事前調整

検査目的で紹介した患者に対して当該共同利用を行おうとする場合は、あらかじめ地域医療連携室に連絡し、西部病院医師等と事前調整をしなければならない。

第5条 研究部門利用型共同利用

研究部門利用型共同利用の内容

病院の研究部門の機能を登録医療機関等の医療従事者のために開放し、登録医療機関等の医療従事者の研究活動を支援するとともに、必要によりその研究活動に対し互いに連携し、その研究活動を進めるもので、地域医療従事者の資質向上を図るための共同利用をいう。

2 利用できる対象者

当該共同利用を利用できる地域医療従事者は、登録された医療機関等に勤務する医師、歯科医師、看護師、薬剤師その他の医療従事者とする。

3 対象研究部門

当該共同利用のために利用できる共同部門は、図書室とする。

4 利用時の手続等

- (1) 図書室の利用にあたっては、所定の手続を行って利用するものとする。
- (2) 利用できるものは、個人情報以外の図書、資料等に限るものとする。

第6条 研修会等参加型共同利用

研修会等参加型共同利用の内容

西部病院が行う研修研究活動を地域の医療従事者に開放し、地域医療従事者とともに連携しながら研修研究活動を進めるもので、地域医療従事者の資質向上を図るための共同利用をいう。

2 利用できる対象者

当該共同利用を利用できる地域医療従事者は、地域の医療機関に勤務する医師、歯科医師、看護師、薬剤師その他の医療従事者とする。

3 対象研修会等

当該共同利用のために利用できる研修会等は、次のとおりとする。

- (1) 公開CPC、月例CPC、臨床カンファレンス、学術講演会その他これに類する研修研究活動
- (2) 西部病院各診療科が開催する各科症例検討会、研究会又はこれに類する研修研究活動
- (3) 西部病院の看護部、医療技術部門又はその他の部門が開催する研修研究活動
- (4) 記念的行事として行われる講演会その他これに類する研修研究活動

4 利用時の手続

当該共同利用により開催される研修会等を利用しようとする地域医療従事者は、開催された研修会等会場に備え付けの利用簿に必要事項を記入するものとする。

附 則

(施行日)

- 1 この要綱は、平成22年7月1日から施行する。

■2022年度 地域医療連携関連の講演会、研修会等

	月日	曜日	時間	講演会タイトル	会場	参加者
2 0 2 2 年	R4.4.5	(火)	19:00～20:00	横浜西部CKD連携Meeting 「多発性嚢胞腎の診断～治療の進歩も踏まえて～」	オンライン	19
	R4.4.8	(金)	19:00～20:30	糖尿病性腎臓病(DKD)対策Webセミナー 「糖尿病性腎臓病の診断と治療—Uptdate—他	オンライン	23
	R4.4.21	(木)	19:00～20:00	高尿酸血症治療WEBセミナー 「血清尿酸値6mg/dL以下達成に向けた痛風・高尿酸血治療戦略」	オンライン	26
	R4.7.14	(木)	19:00～20:00	第80回 旭・瀬谷・泉循環器ラウンドテーブル	オンライン	16
	R4.8.1	(月)	-	WEB版市民公開講座 「産後の食事について」	オンライン (配信)	-
	R4.8.1	(月)	-	WEB版市民公開講座 「離乳食について」	オンライン (配信)	-
	R4.8.1	(月)	-	WEB版市民公開講座 「肥満と食事療法」	オンライン (配信)	-
	R4.8.23	(水)	19:00～20:00	第1回 貧血管理webセミナー 「CKD診療 当院の取り組みと貧血管理を含めた最近の話題」	オンライン	17
	R4.9.21	(水)	-	WEB版市民公開講座 「関節リウマチの生活上の工夫について」	オンライン (配信)	-
	R4.10.19	(水)	19:00～20:30	横浜西部整形外科フォーラム 「内側半月板損傷の病態と治療の実際」 「骨粗鬆性椎体骨折に対する手術療法-手術療法を行うべき骨折型と術後骨粗鬆症治療における病診連携-」 「胸郭出口症候群の診断と鏡視下手術」	オンライン	52
	R4.10.25	(火)	19:00～20:00	第2回 貧血管理webセミナー 「心不全における薬物治療と貧血管理について」	オンライン	16
	R4.10.31	(水)	-	WEB版市民公開講座 「2型糖尿病について～合併症と適切な治療介入の必要性～」	オンライン (配信)	-
	R4.11.3	(水)	8:30～17:00	第11回 緩和ケア研修会	オンライン	23
	R4.11.22	(水)	-	WEB版市民公開講座 「潰瘍性大腸炎ってどんな病気??～症状と最新の治療について～」	オンライン (配信)	-
2 0 2 3 年	R5.1.12	(木)	19:00～20:00	第81回 旭・瀬谷・泉循環器ラウンドテーブル	オンライン	13
	R5.2.6	(水)	-	WEB版市民公開講座 「変形性関節症について～当院でのロボット支援下人工関節置換術～」	オンライン (配信)	-
	R5.3.27	(月)	19:00～20:00	横浜西部CKD WEBセミナー 「HIF-PH阻害薬が変える腎性貧血治療」	オンライン	21
	R5.3.28	(火)	19:00～20:00	横浜西部高血圧 WEB Live 「高血圧から心不全までシームレスな治療を考える」	オンライン	40
	合計		18件			266